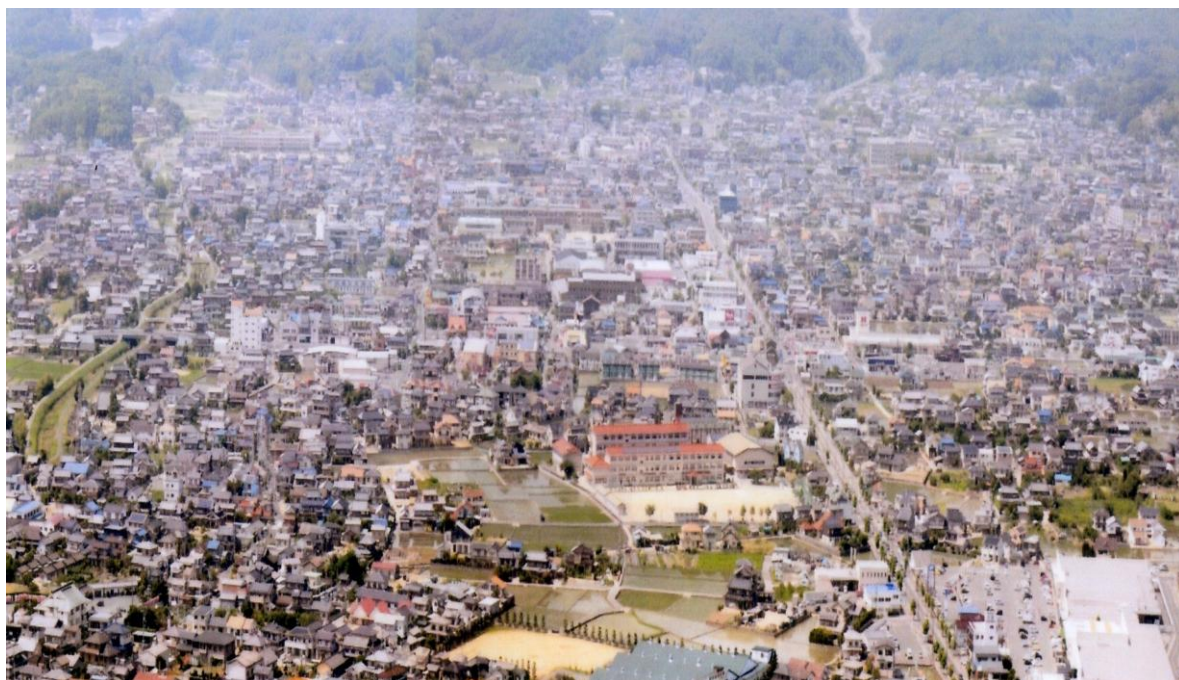


# 駅家学区まちづくり計画

～明るく住みよいまちづくり～



**2014年（平成26年）10月**

**駅家学区まちづくり推進委員会**

## ごあいさつ

駅家学区のまちづくりは、現在の「駅家学区まちづくり推進委員会」の前身である「駅家学区ふれあい事業推進委員会」から、明るく住みよいまちづくりをめざしてまちづくり事業に取り組んで一定の成果を収めてまいりました。

福山市は、市制施行 100 周年を前に今までのまちづくり事業の強い見直しの背景がありました。

このたび各種団体やまちづくりの各部会の皆さんを対象にアンケート調査を行い集約し、福山市の「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を基本にして『駅家学区まちづくり計画』を策定いたしました。

駅家学区まちづくり推進委員会に対する気付きや意見を、多数寄せていただきありがとうございました。

このひとり一人の願いや思いを大切に、これからも「誰もが住んでよかったと思えるまちづくり」「明るく住みよいまちづくり」をめざして取り組んでまいりますので、委員をはじめ、住民の皆様のご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

駅家学区まちづくり推進委員会

委員長 戸田 壯



スポーツ祭



駅家子ども音頭



グリーンカーテンコンテスト

## 目 次

1. 学区概要	1 頁
2. 学区世帯・人口の推移	1 頁
3. 学区の現状と課題	2 頁
4. 基本方針並びに主な施策	2 頁
5. 事業計画	3 頁
* 駅家学区まちづくり推進委員会組織図	4 頁
* アンケートの分析	5 頁
* 駅家学区まちづくり計画団体アンケートの集約	6 頁～10 頁

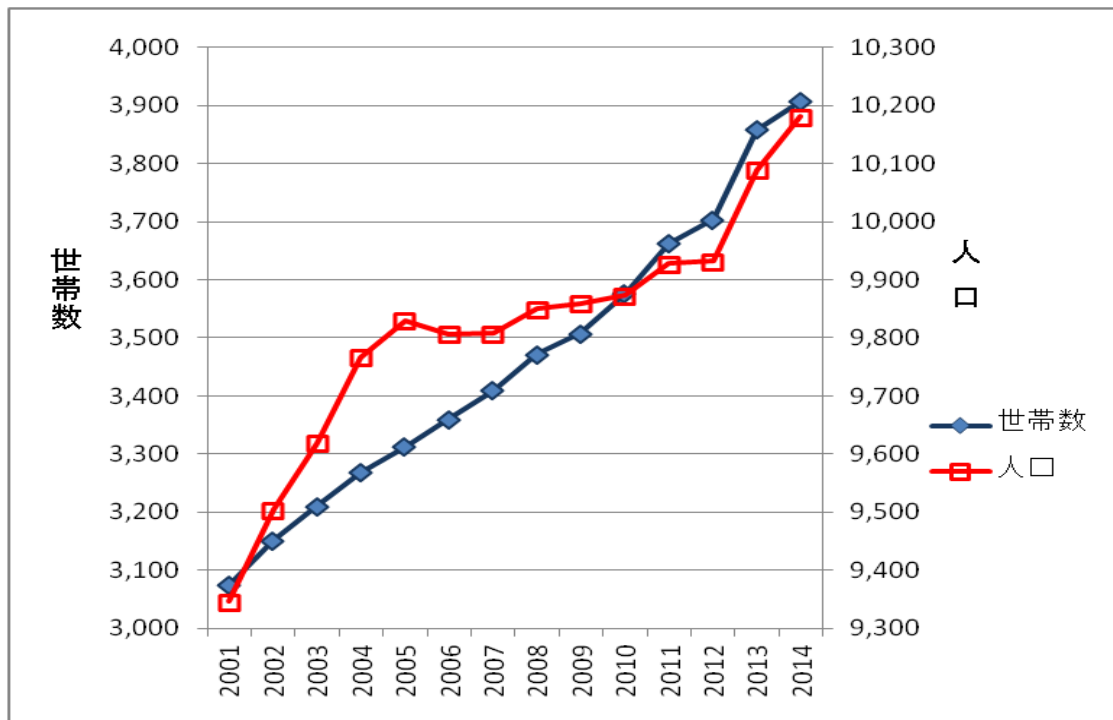
## 1. 学区概要

駅家学区は、福山市中心部より北西約 10km に位置し、7 つの町内会・自治会で構成され、学区内の世帯数は約 3,900 世帯、人口は約 10,200 人です。

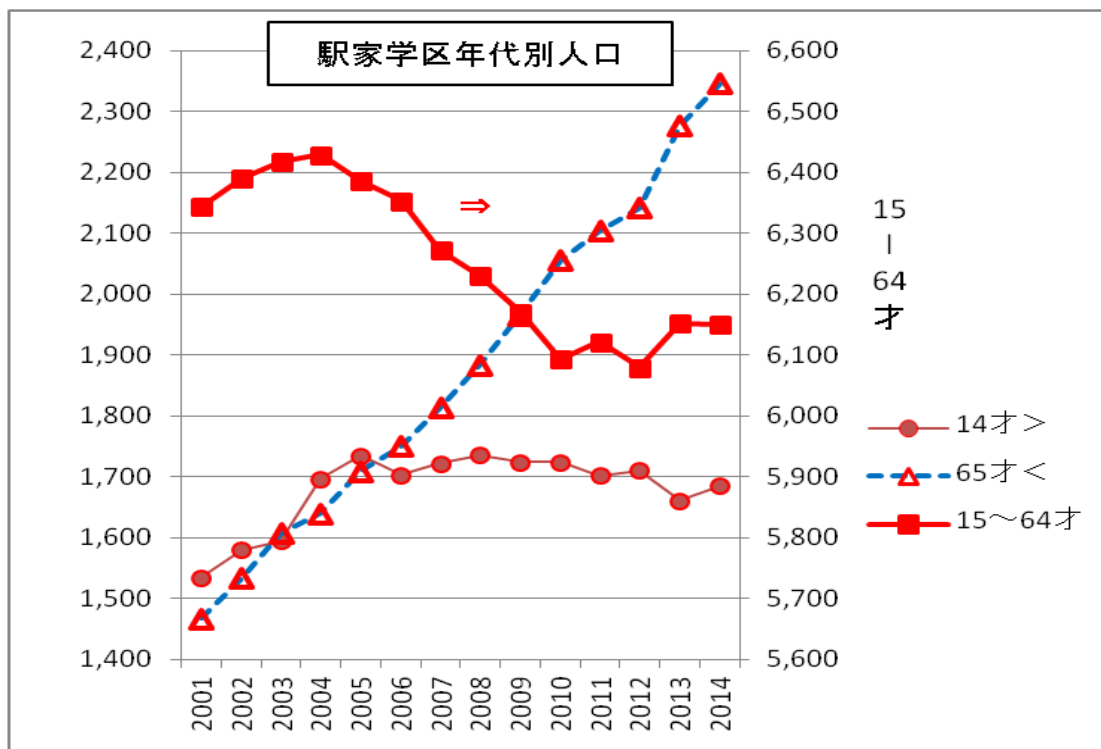
以前は、のどかな田園地帯でありましたが、学区の中心部を東西に走る国道 486 号が開通してから国道沿いに商業・娯楽施設が並び、周囲は住宅地域として発展しています。

## 2. 学区世帯・人口の推移

### (1) 世帯と人口



### (2) 年齢別人口



### 3. 学区の現状と課題

現在、学区を取り巻く環境は、市街化区域による宅地化で人口が急増し、小学生児童も年々増加しています。今後は、少子高齢化を始め生活様式の多様化や、情報化社会の進展、さらには核家族化など大きく変化し、地域社会において人間関係が希薄化してコミュニケーション不足が目立っています。

今、人の意見に耳を傾け、自分の意見をはっきり言えるコミュニケーションの図れる地域社会の構築が必要になってきています。

子どもたちを取り巻く環境も、いじめ、ひきこもりなど様々な問題が発生し他人事ではなくなっています。

さらに、子どもや高齢者の交通事故防止や地域防犯活動が求められています。

### 4. 基本方針並びに主な施策

当委員会では、各種団体アンケートの意見を集約し、まちづくりの将来像を次の3点に絞りました。

#### ～環境と人にやさしい誰もが尊重される駅家学区～

町内の環境対策と川や溝の美化、犬の糞の放置の撲滅など駅家小学校・駅家南中学校とも連携し、地域環境づくりを考えていきます。

省エネルギー・リサイクルなどの推進、グリーンカーテンの促進を公衆衛生推進協議会と共催して進めていきます。

誰もが尊重されるまちづくりをめざして住民学習会を推進していきます。

#### ～地域に根ざした文化の継承・発展～

駅家学区では、各町内会でそれぞれ秋祭りが催されてきています。また、駅家にまつわる歌や踊りが数多くあります。

将来、駅家を離れて生活するであろう子どもたちに、駅家というふるさとを心に残す取り組みとして“駅家サッサカ”“福塩線音頭”“駅家子ども音頭”などを継承していきます。また、2014年から“駅家ソーラン”を創作して、広めていきます。

#### ～安心・安全な活力ある えきや～

子どもの見守り活動をはじめ、防災訓練などを通じ、子どもからお年寄りまで安心して安全に暮らせるまちづくりを進めます。

駅家学区の防災安全マップを作成し、交通事故防止や地域防犯活動に、積極的に取り組んでいきます。

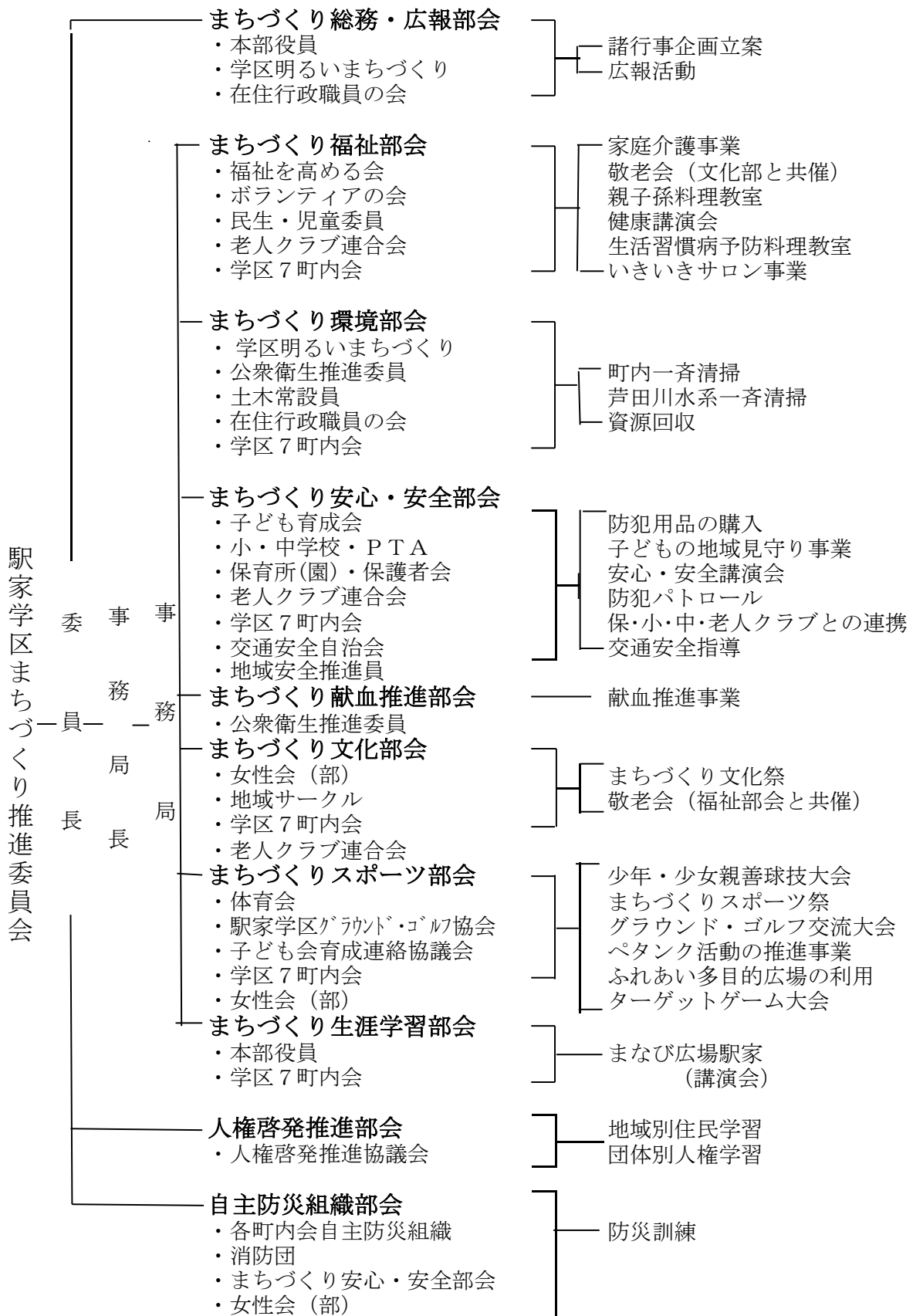
5. 事業計画

事業内容	達成時期		
	短期	中期	長期継続
学び広場駅家 学区民大学	○		○
親子孫ふれあい料理教室	○	○	
生活習慣病予防料理教室	○	○	
いきいきサロン教室	○		○
環境づくり推進事業	○		○
少年少女親善球技大会	○		
スポーツ祭	○		○
グラウンドゴルフ交流大会	○	○	
ペタンク交流大会	○		
ターゲットゲーム大会	○		○
「献血」推進事業	○		○
安心・安全活動事業	○	○	○
まちづくり文化祭	○		○
人権啓発推進事業	○		○
コミュニティ育成事業	○		○
自主防災活動推進事業	○	○	○
まちづくり推進委員会運営事業	○		○

※ ここでは、短期は1～2年程度、中期は3～4年程度

※ 事業内容については、計画の進捗状況やアンケート結果などの住民ニーズを踏まえ、まちづくり推進委員会で協議のうえ、必要に応じ見直しを行い「誰もが住んでよかったと思えるまちづくり」「明るく住みよいまちづくり」をめざします。

# 駅家学区まちづくり推進委員会組織図



## アンケートの分析

### 社会環境（人に関する評価として）

世帯数は増えて、若い人が多くて活気はある。しかし、地域社会に対する関心は低い。高齢化社会に対する準備を急ぐ必要がある。

### 地理的環境（福山市の北部として）

北部の中核として住み良い（学校や市役所などの公的機関がある）。また車社会としては、幹線道路に恵まれている。生活道路については、早急な対応が必要である。

### 安心安全活動（交通・防犯・防災として）

災害の少ない学区であるからこそ、多くの住民が暮らしている。災害時のパニックを最小限にするためにも、親子での備えと地域での防災訓練が必要である。

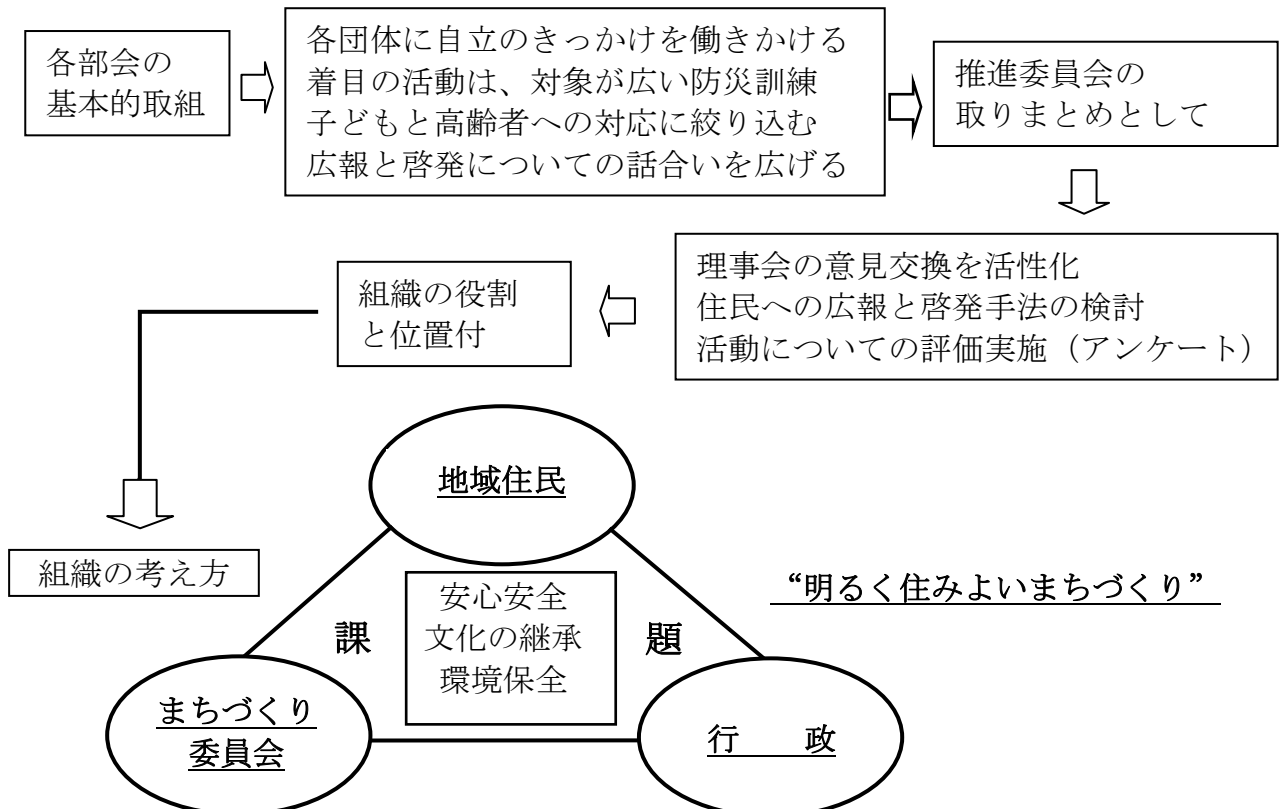
### 活動行事（既存の行事に対する評価として）

文化祭と芸能祭には、一定の評価がある。しかし、参加している人は、限られた人である。新たな取り組みとして、気楽に家族（子どもと高齢者を含む）として参加できる行事を望んでいる。

### 活動組織（まちづくりとしての自己評価）

組織としての評価は、ボランティアとして制約があるのに十分な活動が出来ている。しかし、町内会の組織とその他団体の組織が、それぞれの果たすべき機能の理解が不十分である。さらに、まちづくりとしての果たすべき機能が、何であるかの理解も不十分である。よって、今後何をなすべきか、まちづくりのあるべき姿は、などについてその構築に苦慮している。

### まちづくり推進委員会の新たなはたらき





## 駅家学区まちづくり計画団体アンケートの集約

調査期間 : 2013.12.19~2014.3.24  
調査対象 : まちづくり推進委員会各部会  
構成団体役員 (10 部会 230 人)

### ◎ 学区のまちづくりで、今後何を取り組むべきだと思いますか。

- \*全体としては、今の取組みの延長線で検討し、発展させればよいと思う。
- \*休耕田を利用(無償借用)した「町民農園」を検討する。  
趣味の野菜作りと参加者相互のコミュニケーションづくりを目的とする。まちづくり推進委員会と休耕田所有者との契約をする。
- \*地域安全マップ・防災マップの作成
- \*災害発生想定 of 訓練を望む。(防災についての勉強会)
- \*文化祭の芸能出演において重複出演のないようにして、幅広く出てもらえるよう検討する。町内会全体の出しものも検討する必要あり。
- \*芸能発表の内容を検討し、出演時間の短縮を図る。
- \*老若男女を交えた行事が(スポーツ祭があるが)あると楽しい。
- \*学区まちづくりの組織と事業内容の宣伝活動(一般の人に対する周知)
- \*生活様式も変わり、価値観もいろいろですが、小中学校の子育てを終えた女性の活動の場所づくり。
- \*各団体と交流する機会を増やす。
- \*現状に見合わなくなった行事の再編
- \*幅広く参加者を増やすためには、どうしたらいいか
- \*メインとなるイベントを開催し、年齢層の幅広い取組みを実施、地域起こしを実践していく。(一日で終わる一大イベントの開催)
- \*学区出身者の講演会など
- \*地域ナンバーワンの掘り起こし・・・地域おすすりマップの作成
- \*新しい行事ターゲットゲーム大会を開催
- \*中高年の健康づくり・・・老後にむけて
- \*高齢者の居場所作り(サロンなど)

◎. 学区の良いところや魅力は何だと思われますか。

- \*世帯数が多くパワーを秘めている。
- \*人口が増加し、若い人も増えている。
- \*これらのパワーを結集することが大切である。
- \*活動の呼びかけに応じてくれる人が多い。
- \*登下校時の見守りに活動を長年してくださる方がいること。
- \*色々な行事を通じて多くの方とのコミュニケーションが図れること。
- \*安全安心につながる防犯活動ありがたい。
- \*多くの人々の賛同や期待感を得て、作品展示や芸能発表ができており、地域文化の発展と向上につながっている。
- \*子どもから高齢者までの交流の場となっている。
- \*まとまりのある学区だと思う
- \*文化として農耕を中心としたものであるから福山市内よりもまとまりが良い。
- \*環境も良く、温暖で住みよい地域である。
- \*世帯数も児童数も多い学区ですが、年1回のクリスマスコンサートに参加させて頂きありがたいと思いました。
- \*町ぐるみで子どもを見守ってくださる。
- \*地域を盛り上げようと熱心に携わる方が多い。
- \*住みやすい町だと思う。
- \*豊富な歴史や豊かな自然を生かした文化活動の普及・発展（音頭・踊り）
- \*絆が強い。古くから続く歴史があり、また新しい住民も多く活気がある。
- \*絆が強く長年色々な行事が続いているところ。
- \*組織ができている。
- \*事業、行事など最低限のことはできている。
- \*活動の根幹はできている。
- \*長年継続して活動されている。
- \*福山市の北部中核地域としての都市
- \*災害が少ない→逆に相互の連帯が薄い。

◎. 学区の良くないところや課題は何だと思いますか。

- \*生活様式や価値観の多様化により人間関係や連帯感が希薄になっている。
- \*町内会役員も家順持ち回りで、責任感も乏しく行事への参加率も低い。
- \*これらの対策として、気楽に参加して連帯を深められる行事を模索する。
- \*学区に遊び場はあるが、遊具がない。(砂場・ブランコ・鉄棒など)
- \*無関心の方が多い。役員の入替えが早く役員が育たない。
- \*安心安全な地域にするために子どもより親の教育を！！
- \*いろんな団体が交錯して役割が、複雑で分かりにくい。
- \*価値観の違いや連帯感の希薄化傾向があり、役員や関係者だけの行事になっていないか。
- \*出演者の練習やリハーサルなどの時間(日数)がかかり負担を感じる人もある。
- \*各地域の成り立ちがバラバラで町内会の組織区分の統一が図れない。
- \*学区が大きいため、まとまりに欠ける。
- \*新しいことに挑戦していく勇気あるリーダーが必要。
- \*役員以外は、人間関係や連帯感が希薄になっている。
- \*暗い道が多い。
- \*町内会への加入者が少なく(未加入世帯が多い)地域のまとまりに欠ける。
- \*横の連携がとりにくくまちづくりに支障をきたす。
- \*人任せ 協力にかけている。
- \*町内会に加入していない人が年々増えている。
- \*服部川の改修の要請・・・防災対策(ゲリラ豪雨)
- \*リーダーの後継者づくりがされていない。
- \*町内会の未加入者への対応が、必要である。
- \*実績重視で新規性が不足する。
- \*学区の将来計画がわからない。
- \*各町内会の相互を理解する仕組みが弱く各々の活動のみとなっている。
- \*学区民の意識と関心事は、二分化されている状況と同様に、行事参加率に特徴がある。グラウンドゴルフへの参加・小学校運動会への家族参加。
- \*今後の行事は、高齢化対策の行事と子ども中心の行事企画に力を集めては、どうか。高齢者には、体力と認知症対策(体育会の役目を見直す)。  
若い家族には、子ども中心の行事(親子で参加して楽しむ)また、子どものスポーツ指導員を体育会で派遣してはどうか。
- \*年代を超えた問題としての対策は、災害の少ない備後の迷信を捨て、お互いの命を守るために長者が原地震断層帯・局地豪雨による堤防決壊の2点について減災訓練をしてはどうか。
- \*人の輪により、人権問題の究極的目標の「お互いの助け合い」を具現化する活動を提案する。

◎. その他、まちづくりに関してお気づきや意見があれば記入してください

- \*他の組織&団体との重複する役員や事業があり、改組して「まちづくり」に一本化できないか。人が集まって群れて「ワイワイ、ガヤガヤ」を繰り返し連帯感を深める事業を模索する。
- \*外部からの指導だけでなく、防犯や交通安全について、もっと親子で話し合うようにすれば！！
- \*犬を飼っている方は、子どもたちの登下校時に合わせて通学路を犬の散歩コースにして頂ければありがたい。(子どもたちの安全見守り)
- \*夜間、街が暗すぎる。・・・照明が少ない。
- \*文化祭における出店を検討してはどうか。  
余り負担にならない程度の出店を育成会・体育会・町内会などでやることも一考の要ありとの意見があった。
- \*本部役員の増員を！
- \*小学校・子どもたちのことをいつも考えてくださってありがとうございます。
- \*まちづくりの組織や活動について、役員になって始めて知ることが多かった。そういう住民がまだまだ多いのではないかと思います。役員の仕事は、大変でしたがまちづくりに関わる多くの方々の献身的な活動を知ることができてよかったと思います。
- \*文化祭では、地域の交流というより市民大学のOBの展示会のように、もっと地域の活動をアピールし協働のまちづくりとして学区で楽しいまちづくりに取り組んでいきたい。
- \*昔からの歴史にまつわる音楽の今に伝えられている。地域住民が感動するイベントの開催に期待したい。出る機会も多くありますが単位町内会の充実も不可欠です。内容のある学区行事を実践できれば何よりです。
- \*駅家学区の傘下各町内会役員は定期的に役員が交代するため新任役員にも理解できる『学区まちづくり』の性格取組みの方針及び企画等、きめ細かく周知され町内会役員が、積極的に参加できる環境を願う。
- \*駅家学区は、都市化の発展経過をみると以下のことが言える。  
中島東、倉光、江良、坊寺の服部川河畔の集落は、条里制の農耕地域より、早い時期に発展している。  
万下、万能倉南、万片南は、条里制農地が、昭和50年代以降特に平成初めの国道486号開通を契機に、農地が住宅地として発展している。  
万下の近年20年間の増加は年率11.35戸である。  
駅家学区は、若く発展途上の地域と、高齢化が進行している地域に二分される。

- \* 町内活動は、企業と異なり、ボランティア活動である。余り背伸びせず実現可能な目標を定め確実に実行することが大切である。
- \* 駅家学区の町内会は、7町内会の加盟戸数約2,500戸で構成されている。
- \* 福山市敬老会の対象者データによると各町内会ともに、一時的現象があるが、確実に高齢化社会となっている。



万能倉跳ね踊り保存会



駅家小学校環境美化ポスター



駅家南中学校吹奏楽部



福塩線音頭

